

市民の声届け、その実現にいつも一生懸命

安江ゆう子市議

玄海原発の再稼働は絶対ダメ、
原発はゼロに

玄海原発から30キロ圏内に
すっぽり入ってしまう松浦市。
避難訓練が行われても、「い
ざという時、鷹島大橋をみん
なが一気に通れるかね。訓練
もよかけど、原発がなかこと
が一番」という市民の声。
原発は事故がなくても稼働

すれば「死の灰」がどんどん
貯まっていき、その使用済み
核燃料棒の貯蔵庫は、まもな
く満杯になります。
玄海原発の再稼働は絶対に
ダメ。原発はゼロに。松浦市
でもどんどん自然エネルギー
を広げましょう。原発をゼロ

にするためには、原発労働者
の仕事は何十年も続きます。



原発事故の避難訓練

市民の願いを聞いて

どんどん議会で質問・提案

○原発事故に備えた「安定ヨ
ウ素剤」を鷹島町民に事前
配備の約束。

○太陽光発電の助成制度創設
が、平成25年度から実施。

○大工さんにも市民にも喜ば
れた「住宅リフォーム助成
制度」の実施。

○星鹿小学校の立て替え要求。

○小・中学生の医療費の現物



給付を要求。

○資格証明書交付者が病気や
けがをした時の短期保険証
の発行。

○福祉用具の受領委任払いが

平成26年度から実施。
○子宮頸がんワクチン接種公
費助成。
○旧西肥バスセンターの改修
要求。などなど。

市民の声を市政に届け、毎
回かさず行った一般質問は、
4年間で60項目以上になりま
した。

生活相談、要求相談には、
すぐに現場へ

「生活がどうにもならな
い」、「差し押さえで何もかも
持っていかれた」、「溝がたが
壊れている」、「ウラが崩れ
た」、「子産坂トンネルが暗
い」などなど、市民の声を聞
けば、すぐさま現場にかけつ

け、関係機関と連絡を取って
解決に走ってきた安江ゆう子
市議。
そもそも日本共産党は、
「国民（市民）の苦難を解決
する」ことを立党の精神とし
て、一番大事にしています。



崖崩れの現場にも駆けつけました

松浦から国政にもしっかり発信



政府と直接交渉（2013年11月11日）

○国民の「目、耳、口」をふさぐ「特定秘密保護
法」を撤廃し、民主主義を守ろう。
○消費税8%の実施を中止し、くらしを守ろう。
○TPP（環太平洋連携協定）から撤退し、農業
と医療、地域経済を守ろう。
○日本を戦争する国にさせてはならない。憲法9
条を守ろう。